

ExaSAN導入事例（Macの共有ストレージ環境）

ユニバーサル ミュージック合同会社

◆ ユニバーサル ミュージック合同会社

所在地: 東京都港区赤坂8丁目5番30号

設立: 1990年 4月20日

URL: <http://www.universal-music.co.jp/>

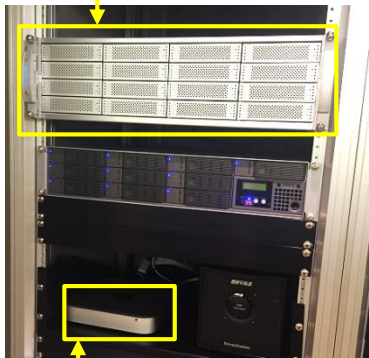
事業内容:

- 音楽ソフト、映像ソフト等の企画、制作、販売



編成管理本部 スタジオ&アセット管理部
スタジオグループ
山本 圭一氏 (左)、春田 陵介氏 (右)

ExaSAN A16T2-Share



MetaDataコントローラー
Mac mini

【構築会社】

◆ 株式会社エステック



所在地: 東京都台東区東上野1-11-4

ルート東上野ビル8F

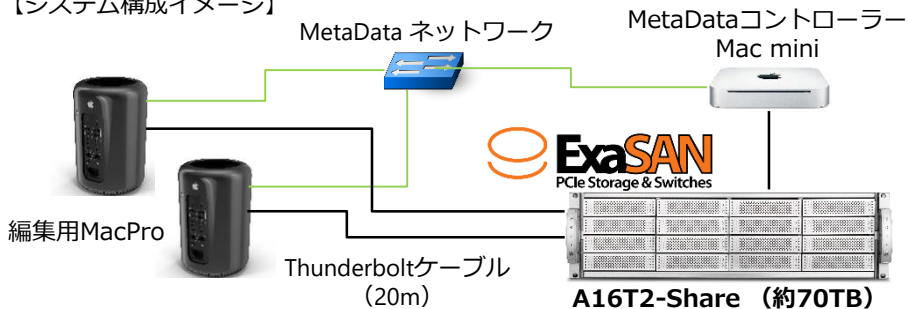
設立: 1992年11月20日

URL: <http://www.stec.ne.jp/>

事業内容:

- アップル製品及び周辺機器の販売、メンテナンス
- 各業種に沿ったネットワーク構築、敷設工事
- 情報処理システム及び通信システムの開発、販売、コンサルティング

【システム構成イメージ】



ミュージックビデオの制作現場

ユニバーサル ミュージック合同会社（以下 ユニバーサル ミュージック）は、全世界60の地域に子会社となるレコード会社、ライセンスを展開する世界最大の音楽企業ユニバーサル ミュージック グループの日本法人です。ユニバーサル ミュージックの映像制作部門では楽曲のプロモーションビデオをはじめ、様々な楽曲に関する映像を制作している。ユニバーサルミュージックの山本圭一氏は「ミュージックビデオは1つの作品ですから、素材をつなぎ合わせればいいわけではなく、加工や色調整、エフェクト処理などを行っています。そして処理を行う都度レンダリングを行って結果を確認し、満足がいくまで完成度を高めていくのです。」と語る。



A16T2-Shareを選んだ理由

もともとXsan 2.0を利用したFC-SANの環境で映像制作を行っていたが、システムのリプレイスに伴い、NASなどの様々なストレージを検討するなかで、InterBEE 2015のTIDブースに展示してあったExaSANのパフォーマンスと1台のストレージをThunderbolt接続で複数台のMacからシェアできることに興味を惹かれたという。

「ExaSANの処理速度が速いことはもちろんですが、容量単価のコストメリットが他社と比べて断トツに安価だったことがあります。また操作に慣れたXsanの構成で進められ、構築作業も安心できる会社を紹介頂いたことも選定した理由です。」（山本氏）このExaSANの構築作業は、株式会社エステック（以下 エステック）が担当した。エステックはアップルの正規サービスプロバイダで、Macのスペシャリスト集団であり、そのプロフェッショナルが構築作業に携わった。

ExaSANを導入したメリット

撮影方法や環境が変化してきており、映像編集への依存度も高くなってきているという。山本氏は「作品によっては、撮影に予算を掛けられない場合があります。スタジオで機材を揃えた上で撮影する方が望ましいのですが、予算の関係上、グリーンバック合成なども増えてきており、撮影後の後処理でそれをいかにしてカバーして作品として仕上げるかが重要なのです。ExaSANを導入した一番の恩恵は、多岐にわたる高画質、素材へのアクセスがスムーズになったことです。このアクセス時間が減れば減るほど、作品のクオリティを高めていけるからです。また今後は4K映像の素材が増えてくることからパフォーマンスだけでなく、大きなストレージ容量が必要になるため、ExaSANを導入できたメリットは大きかった」と笑顔で語ってくれた。

【2016年6月】